

号外

なら医療DX通信

2025
OCT

奈良高専×奈良県立医科大学 未来の医療について考えるために“体感”する 特別プログラムが開催されました！

奈良工業高等専門学校と奈良県立医科大学附属病院がタッグを組み、医療×工学で今後の医療と社会課題を発見できるような「病院見学実習」を行いました。

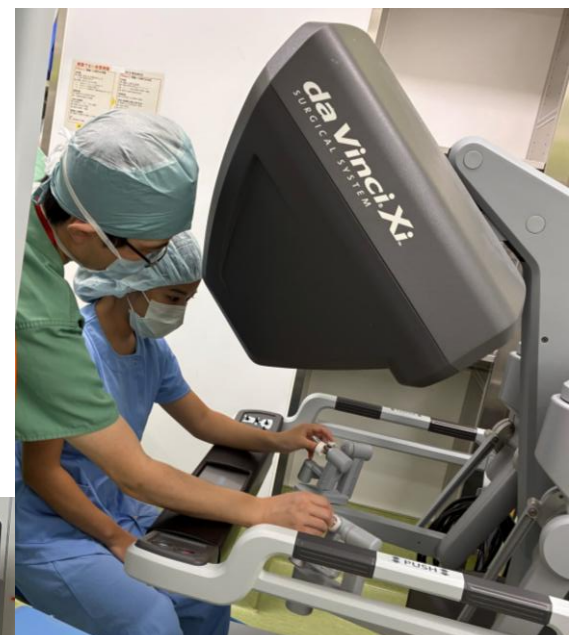
参加してくださった先生方、学生の皆様ありがとうございます。

本企画は、最新の医療現場を実際に見学し、「医療・介護で活用される技術」や「現場が抱える課題」をリアルに学ぶことで、工学的視点からの解決策を考えることが目的です。奈良県の国公立教育機関が結ぶ「奈良県内国公立高等教育・研究機関における連携・協力に関する協定書」に基づく企画として行いました。昨今の技術者にとって重要な資質として、現場の課題やニーズを発見し、そこにアプローチする能力が必要だと言われています。医療分野も異業専門職との連携が、今後の医療の発展に寄与できる機会として大変重要です。最後に本企画の実行に際しまして、ご協力いただいた大学、病院関係者の皆様に感謝申し上げます。

実習のハイライト

- ・ 手術支援型ロボットや3Dプリンターの医療応用について見学
- ・ 配膳車の見学
- ・ 教育シュミレーター(VR)と病室の再現施設での実臨床体験

なかなか入ることができない医療現場の見学や手術支援型ロボット、医学応用されている3Dプリンターなどを目の当たりにし、学生さんたちも興奮気味でした。



SPMIC

Dr.タマモンの 今月のひとこと

病院見学で医療のリアルに触れた皆さん、秋は色々なイベントもありますね。秋風が心地よいこの季節、病院で得た気づきやひらめきを温めながら、DXは「デジタル変革」だけじゃなく「どんどん実験」の略でもOK。ロボットやデータ管理の発想も、これからのイベントづくりのヒントになるかもしれません。落ち葉が重なって色づくように、学びと遊びが重なって新しい発見が実りますように。どうぞ体調に気を付けて学校生活を謳歌してくださいね。

